

東鍼同窓会だより

東洋鍼灸専門学校同窓会 2019年10月1日発行 第13号

☆同窓会の活動内容

会員相互の親睦を深め、柳谷素靈の遺志である東洋医道の研鑽および母校の発展に寄与することを目的とした活動をしています。

主な内容…

- ・「医黄集門」「同窓会だより」の発行(卒業後同窓会の会員にはご自宅へお届けしております)
- ・柳谷素靈先生の墓前祭への参加
- ・毎年4月29日に同窓会総会と講演会を開催
今年の講演会には大師はり灸療院長の谷岡賢徳先生をお招きし、「体表の声を聞くー0歳から100歳まで」と題し、ご講演と実技のご披露をいただきました。(こちらの講演会は同窓会会員の方は参加無料!!)
・講演会終了後には懇親会を開催し、谷岡先生にもご参加頂きました。

☆同窓会の役割

- ・同窓会と卒業生を繋ぎ合わせる試み。

その材料として「医黄集門」と「同窓会だより」を発行します。

- ・新卒業生のフォロー

開業指導や就職指導など、すでに開業や就職している先生との繋がりや交流を作れるような場を設けております。

「同窓会だより」発行の始まりは「母校の様子を卒業生に伝えるために」でした。ですが、今回は「同窓会だより」を通じて在校生やこれから同窓会に入って頂く方たちに同窓会というものを知って頂けたらと思っております。

この伝統ある東鍼校という学校を卒業できたことを私達は誇りに思っております。

先輩方にも東鍼校に誇りをもつ方々が沢山います。そんな歴代の先輩方と交流できること、東鍼校らしさを受け継ぐ組織として同窓会を盛り上げていけたらいいなと思います。

同窓会H31年卒新理事一同 (菊池圭一・宮田慎・下庄克矢・加藤恵美子)

●卒業生へのインタビュー

卒後の進路 (開業)

小杉明香先生 (みかん堂はり灸治療院 開業) H31年昼あマ指科卒

●はじめに

今年度より同窓会新理事となりました菊池圭一です。僕からは、3年間ともに学んだクラスメートである、

鍼灸あん摩マッサージ指圧科専門部第60回卒業生の小杉明香先生をご紹介いたします。

小杉先生は卒業してすぐ、2019年4月に『みかん堂はり灸治療院』を開業。京王線仙川駅から徒歩10分ほどの閑静な住宅街にある一戸建ての建物にその拠点を構え、日々の臨床に励まれています。

もともとここは土岐（旧姓：吉村）麗子先生が『仙川一本堂』として鍼灸院を営んでいた場所であり、小杉先生は、まだ鍼灸師になろうなどということをこれっぽっちも考えていない頃から患者として通っていました。しかも土岐先生が開業される前から、勤務先の治療院を変わるたびついて行ったといいます。小杉先生が当時の仕事のストレスによって不眠症を発症し療養中だったとき、まさに心愈に一発、土岐先生の会心のお灸が効いたことでその日のうちに発症後初めてお昼寝することができ、その後の回復はめまぐるしかったといいます。そして、鍼灸ってすごいんだ、と。そんな思い入れのある場所で小杉先生が開業できたことは、大きく強い縁と導きがあったからなのだろうと僕は思いました。

土岐先生は現在千葉に在住されています。引っ越しを機に、開業して10年を一段落として治療院をたたもう、そして将来の希望に満ちた後進にその後を委ねようと考えたとき、卒業を来年に控えさまざまな進路を思い描いていた小杉先生と、その運命の糸が結ばれあったことでこのたびの開業が成就したというドラマチックな経緯があったのです。

さて、そんな『みかん堂はり灸治療院』で小杉先生は日々どんな風に過ごされているのか、そのほかにも気になることをいろいろ聞いてみました。

●主な治療方法は何ですか？

2年生のときから特別授業を受け学んでいた積聚治療。基本治療と、知熱灸を使った補助治療を中心としています。

●患者さんについて教えてください

1ヶ月延べ30名程度。主に土岐先生から引き継いだ患者さんと、私の知人で、飛び込みは数名です。年齢層は20代から80代まで、症状はぎっくり腰、慢性腰痛、肩こり、目の疾患、躁鬱症など。また、健康維持のために来てくださる方も多いです。

●一日のスケジュールは？

平日は午前10時開院で午後8時閉院。土曜日は午前9時開院。1時間前には出勤し、掃除、ベッドメイク、お茶の準備をします。治療にかかる時間は約1時間で、治療後は、お話し好きの患者さんはゆっくり世間話をしています。治療の合間に休憩したり、アイロン掛けや事務仕事をして、空き時間には本を読んだりブログを更新したり、これから経営のことを考えたりします。

●開業してみてどうですか？

すべてが想像以上でした。想像以上に不安で、でも想像以上に楽しいです。こうして以前からの患者さんが定期的に通ってくださり開業してすぐに治療ができる場があるなんて本当にありがたいと思っています。でも、基本的に寂しがり屋なので、そろそろ外でも働くかと考えています。



(写真1) 玄関前にて。みかん色の看板が目印。

●学生生活について教えてください

職業として鍼灸をやろうということについては入試直前まで迷っていましたが、統合医療のクリニックで事務職員として働く中で、患者さんに直接アプローチしたいという思いが強くなっていました。さらに、自分が鍼灸によって体調を改善した経験を活かし、治療には薬以外の選択肢もあるのだということを身をもって証明したいと思い、専門学校で東洋医学と鍼灸を学ぼうと決意し、クリニックを退職後すぐに東鍼校に入学しました。

現在の臨床に活かしている知識や技術は東鍼校でしか学べないものだったし、ご高名な先生の授業を受けられたことや、学んすぐ実践できる実技室開放のシステムなどは素晴らしい、東鍼校に入学して本当によかったと思っています。

また、東鍼祭実行委員長をつとめあげられたことは、現在の治療院の運営にも活きています。前職ではスタンドプレーが多く、誰かに仕事を任せるのが苦手でしたが、実行委員のみんなは仕事を「任せて」と言ってくれました。みんなで協力し手をつないでひとつの大きなことを成し遂げられたことは素晴らしい経験になりました。何ごともひとりじゃできないってこういうことなんだ、と身をもって感じることができました。

東鍼校には、よかったです思い出しかありません。

●今後の展望は？

月並みだけど、患者さんの辛さを安らぎに変える。ここに来れば心身ともに安心できる。そんな治療院にしていきたい。ここに続けて通ってくださっている患者さんは大なり小なり『気』というものへの期待値があるようです。鍼灸を通じて患者さんの期待に、言葉と技で応えられるような「気の合う」治療ができる治療家になりたいと思っています。

こうして開業していることも以前は考えたこともなかったことなのだから、今後も何が起こるかわからない。だからやりたいことを積極的にやっていきたいです。また、今ある自分の知識や技術は、東鍼校などで出会った先生方からいただいた貴重な財産です。いつか、それに自分の経験をプラスして、必要とする人に伝えられたらいいなと思います。



(写真3) 建物の2階には勉強会もできる部屋があります。



(写真2) 治療室にて。ベッドは2台。



(写真4) 待合室。開業祝いの花も飾られています。

●同窓会へひとこと

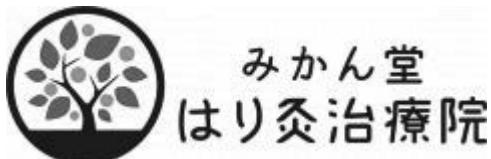
学んだことを少しでも患者さんに還元できるようにこれからも頑張ります。

●おわりに

インタビューをしてみて、小杉先生が持つ温和で心優しい表情と口調の中に確かに存在する強い信念と意志を感じました。僕は3年生の臨床実習で、小杉先生の的を射た指摘と改善点の提案を受け完膚なきまでに納得し今後を改めたという苦くも良い思い出があります。また、実技室開放ではクラスメートや後輩にいつでも治療練習をしている姿を見かけては僕も頑張ろう、と刺激を受けていました。

常に学ぶこと、技術の研鑽を怠ることのない小杉先生。何ごとも諦めずに、どんどん飛び込んでいって自らチャンスをつかみ、それを今ここで実践している。クラスメートのひとりが、僕の憧れる開業という道を一足先に歩んでいることは羨ましくもあり、早く追いつきたいという思いもあり、何よりも誇らしい気持ちでいっぱいです。

みかん堂の名称は、果物のみかんに『未完成』のみかんをかけてネーミングされたそうです。常に完成を求めて学び続け、成長し続ける。一生成長。それが具現化された治療院で、貴重なインタビューの時間をいただけたことに心より感謝いたします。小杉先生ありがとうございました。



ロゴマークはみかんの樹をモチーフにしたもの。

《みかん堂はり灸治療院ウェブサイト URL》 <https://mikando-harigai.com>

H31年卒新理事 (菊池圭一)

卒後の進路（開業）

長尾理恵先生（アーユルヴェーダ専門サロン AyurBeauty 開業）H31年昼鍼灸科卒

●鍼灸科 昼間部 第60回卒業の長尾理恵さんを紹介します。

入学前からアーユルヴェーダセラピストとして独立開業しており、在校時も続けておられました。級友の中にはすでに何らかの施術者や資格者であり、それにプラスする形で鍼灸を学んでいた方たちがいました。長尾さんもその一人です。

◎自己紹介

2005年5月、埼玉の浦和でアーユルヴェーダ専門サロン AyurBeauty（アーユルビティ）をスタート。日本で最も古く長く続いているアーユルヴェーダ専門の個人サロン（たぶん）。2019年4月からアーユルヴェーダ鍼灸を取り入れ、より具体的な不調を整えることに尽力しています。



●今までの施術に鍼灸をどのように取り入れているのですか？

アーユルヴェーダの古典にスチカルマと呼ばれる鍼治療が書かれています。当サロンでは、スチカルマを取り

入れたアーユルヴェーダ鍼灸を行っています。

私の仕事をとてもシンプルに言うと、溜まってしまった毒素を出す手助け。アーユルヴェーダでは、全ての不調や病気は身体に入ったけれども消化されずに滞りになった未消化物が原因だといいます。これを毒素と呼んでいます。鍼のテクニックも、余分なものを出すことをイメージしていて、「瀉法（しゃほう）」を多く使います。汚れた布は、美しく染まりません。まずは、毒出しから。

●開業している上で心がけていること、注意していることなど教えて下さい。

最高の施術をお届けするためにはどういった判断で行動すればよいのか？行動指針を決めています。

新しいことを取り入れる時、何かを決める時には軸がブレないように必ずこの優先順位を守ります。

1. 安全 : 安全第一！信頼の大前提！
2. 清潔 : ピカピカだと気持ちいいね！安全にもつながります。
3. 礼儀 : 気難しい店主ではなく、会いたいと思っていただけるセラピストになりたい。
4. テクニック : 施術効果や心地よさ
5. 効率 : 掃除や洗濯を効率化すると早くお家に帰れます。

まずは、安全、清潔があって、その後にテクニック。技術者はテクニックを一番優先しがちですが、間違ってはいけない大切な優先順位です。

●今後の目標や活動などは？

30～60歳の女性、仕事、家事、育児、介護など、何か役割を持っている。毎日忙しく、明日も元気に明るく頑張るために健康が何より大切で、その為にはメンテナンスが必要だと理解している人、がんばる女性の手助けをします。



アーユルヴェーダ専門サロン
AyurBeauty（アーユルビューティ）

HP : <http://www.ayur-beauty.com/>
ブログ : <https://ameblo.jp/ayur-beauty/>

サロンは、とてもいい香りと心地よい柔らかな光で迎えられワクワクさせられます。

天気の日によく干して取り込んだばかりの愛用の布...
そんな雰囲気を醸す彼女の施術を女性だけが受けられます。

H31年卒新理事 (宮田 慎)

卒後の進路（開業）

加藤恵美子（千倉治療院 はり・きゅう・指圧・マッサージ、千倉漢方薬店 開業）H31年夜鍼灸科卒はじめに

新理事の加藤恵美子と申します。私事で恐縮ですが、今年の3月に東鍼校を卒業し、その翌月にさいたま市から南房総市千倉町に移住しました。そして5月1日、夫と共に千倉治療院 はり・きゅう・指圧・マッサージを開業し、5月7日に千倉漢方薬店もオープンしました。知り合いも誰もいない田舎町に移り住み（最寄り駅は無人駅）、生活も仕事もすべてがゼロからのスタートでしたが、ようやく集落にも馴染んで、地域の患者さまも来てくださるようになりました。



開業はいつから考えていた？

東鍼校に入学する前から卒業したらすぐに治療院を開業しようと考えていました。漢方薬店については入学後に鍼灸と漢方薬の組み合わせで相乗効果が期待できることを知り、治療院に併設しようと決めました。1年生の6月から登録販売者の勉強を始めてその年の9月に試験を受けました。そして、1年生の終わり頃からドラッグストアで働き始め、卒業するまで2年間働きました。在学中に店舗管理者になるために必要な要件を満たすことができたため、卒業後すぐに漢方薬店を開業することができました。

開業までの道のりは？

物件はインターネットでみつけました。「海で釣りをする」「畑で野菜を作る」「自宅で開業する」という希望をすべて満たすところを探し、数か月後によくぴったりのところが現れました。今年の2月に実際に見に来て、3月に契約。そのまま保健所に部屋の間取り図を持って相談に行きました。その後も分からないことをメールで問い合わせたりして、保健所の方には大変お世話になりました。



治療院の展望は？

地域医療への貢献はもちろん、健康と美を追求するツーリストにも数多くご来院いただくことで『南房総ヘルス&ビューティー ツーリズム』を推進し、安房地域の活性化に貢献していきたいと考えています。

最後に

千倉治療院は海まで徒歩3分、房州低名山も見渡せ、耳を澄ませば波の音とうぐいすの鳴き声が届いてきます。自然が豊かなのんびりしたところです。都会の生活に疲れたら、ぜひ当院にお越しくださいね。

千倉治療院 はり・きゅう・指圧・マッサージ、千倉漢方薬店
<https://www.chikurachiryo.in.com/>



会長 あいさつ

第15代同窓会長 風間正男

同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。

先ずは、4月29日の総会におきまして、引き続き同窓会長に選任いただきましたこと、ご報告いたします。
今後もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私から会員の皆様にお知らせしたいこと、お願ひしたいことは、以下のとおりです。

・ 4月29日は定期総会・記念講演会・懇親会

毎年4月29日（祝 13:00～）は同窓会総会等にご参加ください。

講演会（14:00～）の講師 今年は大師流の谷岡賢徳先生でした。

来年の講師は未定です。（医黄集門、同窓会HPでお知らせします。）

懇親会（17:00～）にもご参加ください。（会費は例年 4千円位です。）

・ 同窓会費は毎年3000円です（郵便局で納付）

会費納入をお忘れの方へのお願ひです。（同窓会活動の継続には皆様の会費が必要です。）

今年度分が未納の方には納付書を同封しておりますので、納付をお願いいたします。

・ 会員名簿の発行を次年度に繰り下げる

5年毎に作成し、会費納入会員に配布しておりますが、在庫がまだ多いことから、経費縮減の観点から
今回も発行を1年遅らせることで、総会においてご了解頂きました。

会員の皆様には、誠に申し訳ございませんが、ご了承いただきたく、お願ひ申し上げます。

・ 母校の受験生募集にご協力願います

皆様のご親族、ご友人等で東洋医学・鍼灸に興味のある方がいらしたら、母校の発展と将来の同窓会会員
数確保するため、ご協力をお願ひします。

会員の皆様、今後も同窓会活動にご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

在校生の皆さん、4月29日の記念講演会、是非ご参加ください。

同窓会事業報告

平成31年2月5日（火）第1回同窓会役員会開催

平成31年2月20日（水）素靈先生墓前祭に参加

平成31年3月21日（木）「医黄集門」No. 48発刊、発行数468部

平成31年3月21日（木）卒業式に参加、同窓会賞を授与

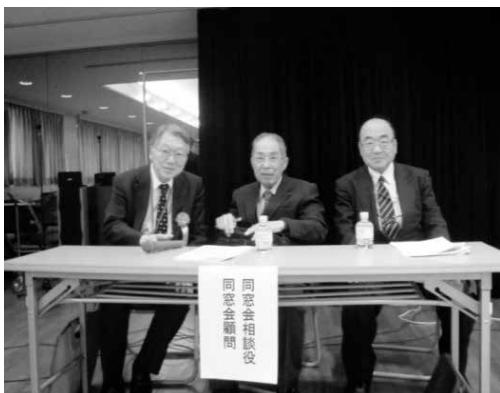
平成31年4月23日（火）第2回同窓会役員会開催

平成31年4月29日（月）

11:00～12:00 「相談役を交えての打ち合わせ」出席者 6名

橋本慎一、塚本此清、竹内廣尚、風間会長、種田副会長、千田副会長

13:00～14:00 同窓会総会 参加者 32名



●総会の議事に先立ち、この春、校長を退任された
竹内先生よりご挨拶をいただきました。



●議事（議長・・・橋本慎一先生）

第一号議案 平成30年度 事業報告・・・・・・原案どおり可決

第二号議案 平成30年度 会計・監査報告・・・・・・原案どおり可決

第三号議案 会長選挙について・・・・・・・・会長立候補者がなかったため、執行部の役員会において現会長を会長候補者とする推薦があり、承認

第四号議案 平成31年度 事業計画案・・・・・・原案どおり可決

第五号議案 平成31年度 予算案・・・・・・原案どおり可決

第六号議案 その他 同窓会名簿発行について・・・執行部案のとおり1年延期することに承認

●記念講演会に先立ち、
この春新校長に就任された
大浦慈觀先生の紹介と
あいさつがありました。



14:00～16:00 記念講演会 参加者 205名
「体表の声を聞く－0歳から100歳まで」谷岡賢徳先生



17:00～ 懇親会 新大久保駅前「鳥良」 参加者 26名



令和元年9月17日（火）第3回同窓会役員会開催

※同窓会からのお知らせ・お願い

○定期総会、記念講演会、懇親会への参加について

来年も、同窓会総会等は4月29日（昭和の日）に開催する予定です。お待ちしております。記念講演講師等の詳細については、「医黄集門」でお知らせするとともに、学校ホームページの中の同窓会のページにも掲載します。

○同窓会費の納入について

毎年の会費3,000円は貴重な活動資金として大切に活用させていただいております。会費未納の方に振込用紙を同封いたしましたので、ご協力をお願いいたします。

○毎年3月発行の機関誌「医黄集門」と5年毎に発行している「会員名簿」は、会費を納入された方にお届けしています。

○毎年秋に発行している「同窓会だより」は住所の登録されている会員全員にお届けしています。住所変更された場合は、必ず同窓会事務局あてご連絡ください。

第 五十六 回 東鍼祭

テーマ：「令和スタート！！今、鍼灸が熱い！！」

2019年11月3日(日曜)

10:00 から 14:00 開催 東洋鍼灸専門学校第一校舎・実技棟於

14:00 から 15:30 リフレッシュサロン開放 第三校舎 B1

15:30 から 17:30 講演会 第二校舎3階講堂

講演会テーマ：「鍼と禪・鍼灸師に伝えたいこと」

講演者：横田觀風先生

実は…セイリンって 鍼だけじゃないんです。

私たちが自信を持ってご提供する、製品の一部をご紹介します！

ご存知でしたか？

ピコリナ～picorina～

「通電機器と鍼の組み合わせを初めて実現」

■管理医療機器(特定保守管理医療機器) セイリン picorina[鍼電極低周波治療器]
■医療機器認証番号:229AABZX00058000

【ピコリナ 主な特徴】

- 通電強度を数値(mA)で設定・確認可能
- 治療状況に左右されない定電流出力方式を採用
- 患者様に合った治療が可能な微細出力調整機能(FINEモード)搭載
- 2チャンネル独立出力
- 治療目的に合わせた4種類の出力モードを搭載
- 附属品の鍼電極・ケーブル・ピコクリップ・リチウムイオン充電池・ACアダプタのみの販売もあります。

【ピコクリップ 鍼電極専用クリップ】

- 挟持部が面なので、鍼体を確実に挟むことが可能
- ピコクリップはケーブルから簡単に取り外しができ洗浄とオートクレーブ処理が可能



【製品仕様】

【定格電源】①本体:DC3.7V(リチウムイオン充電池)、DC5.9V(ACアダプタ) ②ACアダプタ:AC100V 50/60Hz 【定格消費電力】12VA【出力電流】最大1mA以下(実効値) 【出力電圧】最大10V±20%(ピーク値500Ω負荷) 【出力周波数】最大100Hz 【タイマー】30分±5% 【電撃に対する保護の形状と程度】クラスII及び内部電源機器、BF形 【サイズ】(高さ)140x(幅)69.4x(厚み)21.8mm 【重量】約160g(リチウムイオン充電池含む)
【付属品】鍼電極、ケーブル、ピコクリップ、リチウムイオン充電池、ACアダプタ、ソフトケース ※鍼電極=10本/JSP3(0.20)×50mm

セラミック電気温灸器

「業界初の現在温度のリアルタイム表示」

※販・製:(株)村田製作所調べ

■管理医療機器 セラミック電気温灸器[温灸器] ■医療機器認証番号:229AKBZX00029000

【セラミック電気温灸器 主な特徴】

- 43°Cから55°Cまで3°C刻みで5段階。±1°Cの精度で温度管理するため患者様に合わせた施術が可能
- 火を使わずに火もでないためどこでも施術可能
- 軽量・コンパクトなサイズで持ち運びに便利
- 先端の直径が2mmで形状が鋭角なためピンポイントな刺激をあたえることが可能
- 先端はアレルギーフリーのセラミックを使用、消毒用エタノールで全面の拭き取りが出来、清潔を維持

【製品仕様】

【電気定格】①本体:DC9V 0.8A、内部電源:DC3.6V 2.2A(専用ニッケル水素充電池)②ACアダプタ:入力AC100V 50/60Hz 0.3A 出力DC9V 1.6A【充電及び駆動時間】約60分充電で90分以上使用可能(工場出荷時) 【タイマー】約30分(30秒ごとに通知音が鳴ります)
【通知音】強／弱2段階 【サイズ】(長さ)165x(幅)31x(高さ)37mm 【重量】140g(ACアダプタ含まず) 【付属品】台座、専用ACアダプタ(充電用)、取扱説明書(保証書付き) 【本体カラー】ホワイト／ブラック 【製造販売業者】株式会社村田製作所



公式キャラクター
鍼水りんちゃん
@harimizurin

！ご使用に際しては、添付文書をよくお読みください。弊社HPの商品案内からもご覧いただけます。！

 SEIRIN

ISO13485 認証取得

■フリーダイヤル(通話料無料)はコチラから **0120-100890** ■詳しい情報は、当社Webサイトでもご覧頂けます <http://www.seirin.jp>

【販売業者】セイリン株式会社 【住所】〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1
【TEL】054-365-5700 【FAX】054-365-5139

2020年4月入学生募集

今後の入試日程

| 試験区分 | 受験学科 | 願書受付期間 | 選考日 |
|-------------|--------------------------------|------------------------|-----------------------|
| 社会人入試(第2回) | 鍼灸科(昼・夜) 鍼灸あん摩マッサージ指圧科(昼・夜) | 10月1日(火) ～10月9日(水) | 10月14日(月・祝) 9:40集合 |
| 高等学校推薦入試 | | | |
| 高等学校指定校推薦入試 | | | |
| 一般入試(A日程) | 鍼灸科(昼・夜) 鍼灸あん摩マッサージ指圧科(昼・夜) | 11月1日(金) ～11月6日(水) | 11月10日(日) 9:40集合 |
| 一般入試(B日程) | 鍼灸科(昼・夜) 鍼灸あん摩マッサージ指圧科(昼・夜) | 11月25日(月) ～12月4日(水) | 12月8日(日) 9:40集合 |
| 特別入試(第1回) | 鍼灸科(夜) 鍼灸あん摩マッサージ指圧科(夜) | 1月6日(月) ～1月15日(水) | 1月19日(日) 9:40集合 |
| 特別入試(第2回) | 鍼灸科(夜) 鍼灸あん摩マッサージ指圧科(夜) | 1月27日(月) ～2月5日(水) | 2月9日(日) 9:40集合 |
| 特別入試(第3回) | 鍼灸科(夜) 鍼灸あん摩マッサージ指圧科(夜) | 2月17日(月) ～2月26日(水) | 3月1日(日) 9:40集合 |

※平日入試は10月以降に開催致します。詳細は本校WEBサイトにてご案内いたします。

受験生紹介制度のご案内

卒業生の皆様から、「入学希望者」をご紹介いただきたくご案内いたします。本校にご興味・ご関心のある方がいらっしゃいましたら下記担当までご連絡いただければ幸いです。ご紹介いただいた卒業生の皆様には受験確認後、“お礼の品”をお送りさせていただきます。詳細は下記担当までお問い合わせください。

□入試事務局 03-3209-5436(代表) info@toyoshinkyu.ac.jp

オフィシャルサイト「卒業生開業治療院MAP」無料掲載のご案内

本校オフィシャルサイトにて「卒業生開業治療院MAP」を公開中です。全国の治療院をお探しの方や「はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧」にご興味をお持ちの方々への良質な保健提供に寄与しております。今後さらに充実したコンテンツとすべく、開業された先生方からのご連絡をお待ちしています。

□お問い合わせ窓口 03-3209-5436(代表) sotsugyo@toyoshinkyu.ac.jp

東洋鍼灸専門学校 同窓会だより 第13号

発行日：令和元年10月1日

事務局 東洋鍼灸専門学校内

発行者：東洋鍼灸専門学校同窓会

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-4-4

会長 風間正男

TEL: 03-3209-5436

編集：「同窓会だより」編集委員

FAX: 03-3209-5569

印刷：共栄印刷株式会社

E-Mail: dosokai@toyoshinkyu.ac.jp